

高次元の視覚開発における発展段階

透視力（洞察力）とははっきりと見ることを意味し、存在の全段階における視覚力と連携しています。霊能者の視覚には物質的世界や人体の構造や状態を見ることができる能力、顕微鏡的、もしくは望遠鏡的に見ることができる能力を含みます。また、内に向かう旅、ビジョンクエスト、他の次元を覗き込むこと、優美な仏閣や別世界への投影など、他の多くの手段を含みます。

基本的なテクニックは、頭と身体をリラックスさせ、知覚を拡張させ、頭頂に光が差し込んでくる様子を想像し、目は大きく見開いたまま瞑想状態に入っていくことです。目が疲れたり、眠気を感じたり、かゆかったり、ヒリヒリしたり、他の似たような感覚があるときには、数秒間目を閉じて、目を休ませ、潤させる時間をとりましょう。よりリラックスするために、何回か深呼吸をし、何らかの結果を出そうという努力はせずに、そつと目を開けましょう。何かを見ようとししないで下さい。その瞬間、あなた自身がどのような高次元の視覚発展段階にあったとしても、それを楽しみ、更にリラックスしてください。

最も望ましい結果を得るには、映画を見るときに、それが事実であるかないかなどを判断する必要がないのと同様に、頭を柔軟にし、これを楽しみ試みとして取り組み、否定的な判断や予めプログラムされた不信感を差し止めるのが一番です。オーラを見読して肉体のもつ病を描写するかのよう、実際の生活の場で試みるによりこのテクニックの正当性や実用性を証明できるでしょう。

あなたの目標が魂、そしてより高次元の頭脳に五感を駆使させるということだとしても、意識的、無意識的に、変化した次元に入り込むことや物質的世界が目の前で変化するのを見ることを拒む傾向があります。だからこそ、物質世界のはっきりとした微細な焦点を維持するために、より高次元の視覚の発展を妨げるような過度の瞬きや部屋の中を見回すこと、そして他の気を散らすような手法は控える必要があります。

物質的世界を構成しているエネルギーを見るために、見慣れたもののみを見るという心地よさを忘れる訓練をし、第三の目を、その人が他の次元へと開化できるよう、新しい経験をすることを認める必要があります。シャーマン、メディスン・ウーマン、神秘論者、ヒーラー、精神世界の教師の道は、第三の目を開け、両眼で見る視覚から球状に見る視覚へと移行し、同一性という目で見るとのことです。こうやって見る人々は、目を大きく開け、スピリチュアルな視覚を遮るベールを貫通し、世界を球形に見るとい、周辺視野を利用し、ソフトフォーカスで生命を覗き込みます。彼らが我々の第三の目を起動させるということは、単に、幼少期早期に閉ざされてしまった自然な神経系経路を再度開通させるということなのです。

あなたは五感のすべて、思考過程、感情において肯定的な変化を体験するかもしれません。以下で述べる例えはエネルギーを体験することを目的に、視覚的に目を開けることに集中していますが、実は、すべての感覚に関連しています。

注：以下に列記されているのは、目を開けたまま瞑想するクラスを受けている際に、人々が個人的に表現した事象を集約ものです。これは、必ず経験しなければならないという指標ではありません。それぞれの人の反応は、それぞれの魂の才能や人生における個人の道と同様、独特です。頭と感情が肯定的且つ精神的であればあるほど結果がより心地よいものになるでしょう。

起こりうる変件事象の一般的なパターン

視覚:

1. 物質世界が幾分、焦点がずれたように見え、不明瞭で、霧がかかったようにぼんやりし、もやがかかり、あいまいに見える
2. 対象物がより明るく、輝き、幾分光を放ち、発光している
3. 対比がはっきりし、光の部分が白か黄色になり、影の部分がより暗く、紫がかかるか、他の色の組み合わせのようになる
4. 環境の輪郭がはっきりしなくなり、物質的でなくなり、半透明、透明に見え、生命力で生き生きと見える
5. 現実と次元間を行きかう視覚が重複し、時空の他の段階を露呈する
6. より高次元の精神的領域からの存在が現れ、精神的な存在と交流

身体感覚: 身体を体温の変化、緊張の増加、あるいは弛緩、拡張、収縮、重力の影響、安定または、拍動したエネルギーの流れ、身体各部分の置ける感覚や知覚の増長、または減少を精査

1. 身体各部分の軽さ、重さ
2. 特定部分の暖かさ、冷たさ
3. 肉体を流れるエネルギー、脈打つエネルギーを認識
4. 身体各部分とつながっていないような感覚、かるいしびれ(無感覚)

5. 皮膚のヒリヒリ感、くすぐったさ、ちくちく感、鳥肌、その他の感覚
6. 物質の対象、特に見られている人との強い連帯感
7. 肉体的感覚の喪失、肉体がより空気のようになる、無条件の愛を経験

頭と思考:

1. 教師から期待されていることに対する困惑や結果を公けに話すことに対する不安感
2. 正しくない反応、あるいは何の結果も得られないことへの懸念
3. すべてが実際に起こっていることであるということを信じることへの警戒心
4. 視覚や他の感覚的影響をなかったことと退けてしまうこと。実体験に対する疑心
5. 部屋の様子が大きく変わることを実際に見ることにより子供のようにあれこれと思いをめぐらす
6. それが何であれ、実際に目にしたものと連帯感、直感的洞察力、より深い理解
7. 一体感(ワンネス)。どこで見る側の人が終わりに、見られる側の人もしくはものが始まるのかを区別することが困難になる。
8. 高揚する思考、創造的思考に対する刺激、意識的な精神的体験、神なる存在とのつながり

他の感覚的体験

オーラ視

通常、頭部や肩の辺りのオーラのエネルギーの方が見やすいです。

1. 物質世界の焦点がぼやけ、霧がかかったようにぼんやりとしてくる
2. 頭部から約1~4cmのところにも明瞭なエネルギーの領域が現れる
3. 肉体の表面から約1~4cmのところにも明瞭な熱が湧き上がるような波打ったエネルギーが広がる
4. 霧ややわらかい雲のような白いエネルギー
5. 透視力(洞察力)が開化すると淡黄色のエネルギーが徐々に明るい黄色の光へと変化する
6. 人の頭部の周りに後光のような金色のエネルギーが現れる
7. 頭部から1~20cmのあたり、もしくは更にオーラの外側に他の色彩が現れる
8. 精神界のガイド、もしくは他の親しみやすい霊が浮遊する光の球界が時折出現する
9. 人の顔を直接凝視すると、顔が変化するように見えることがある—それは、あたかもエーテル体が映写幕の役割をしているかのようである。(「顔の変化」の項を参照してください。)

顔の変化を見る

何が見えるかは、見る者の何か特別なものを見るという意志に影響されます。

1. エーテル体が顔の辺りを覆い、エネルギーの映写が見られるスクリーンを形成する
2. 三次元の光学的なホログラフィック・イメージが顔の正面のエーテルの(空気のような)エネルギーによるスクリーンに重ね合わせたように映し出される
3. その人の内なる特徴を物質的に現すように、顔が変化する
4. 過去世の顔が出現する。すばやく瞬間的にしか見えないようであれば、それは時間と共にその速度が落ちていくでしょう
5. その人の永遠なる顔を露呈するかのように常に同じひとつのイメージが見られることがある。それは、年を重ねたその人の魂の質を露呈した合成写真のような像である。
6. 祖先や精神界のガイドが現れることもあるでしょう
7. 非物質的な教師、より高次の精神世界の存在、天使、神の永遠なる顔などの像

より高次元へのエネルギーの玄関口をつくること

何もない壁面、特に明るい白熱の明かりがある点を見つめ、より高次元の精神界の玄関口を広げるという意志をもって第三の目(顔全体)からエネルギーを発射することにより、より高周波数の視覚的な窓口が作られます。創造力を開化させることにより、物質的な存在レベルを超越するように視覚を拡張させます。それは、魂が自分の第六感を使っている状態です。

1. 自分が達成しようとしていることを考えすぎたり、何かが起こるかどうかと思いをめぐらしたりしながら、何もない壁面を見つめる
2. 緊張を緩め、知的な考察を少なくすることにより、光を放つ部分が現れ、それが拡大していく
3. 内なる視覚は、壁を見透かすことができるように感じられ、霊能者的な情報を直感的に感じ取られる
4. 思考を開化し、時間や空間を旅すると共に、現在、過去、未来の霊能者的な視点が露呈されてくる
5. 精神界の生命と交信しようという意志があると、光の球体が現れたり、顔の形をとり始めたりする
6. 頭と身体がすべての存在、創造物、神なる存在などが一体化したものと深くつながることにより、部屋が安定感を失い、不透明になっていく

わきへそれた意識

世界とインナーセルフの関係性が
緊張、防御、解離、不注意の状態

DIVERTED AWARENESS

*Relating to the world and to inner self is
tense, defensive, dissociated, unaware*



もろさ、不安感、恐怖心

DEFENSE
防御

conscious
意識

subconscious
潜在意識

変則的な緊張が形成さ

自己ヒーリングで放出

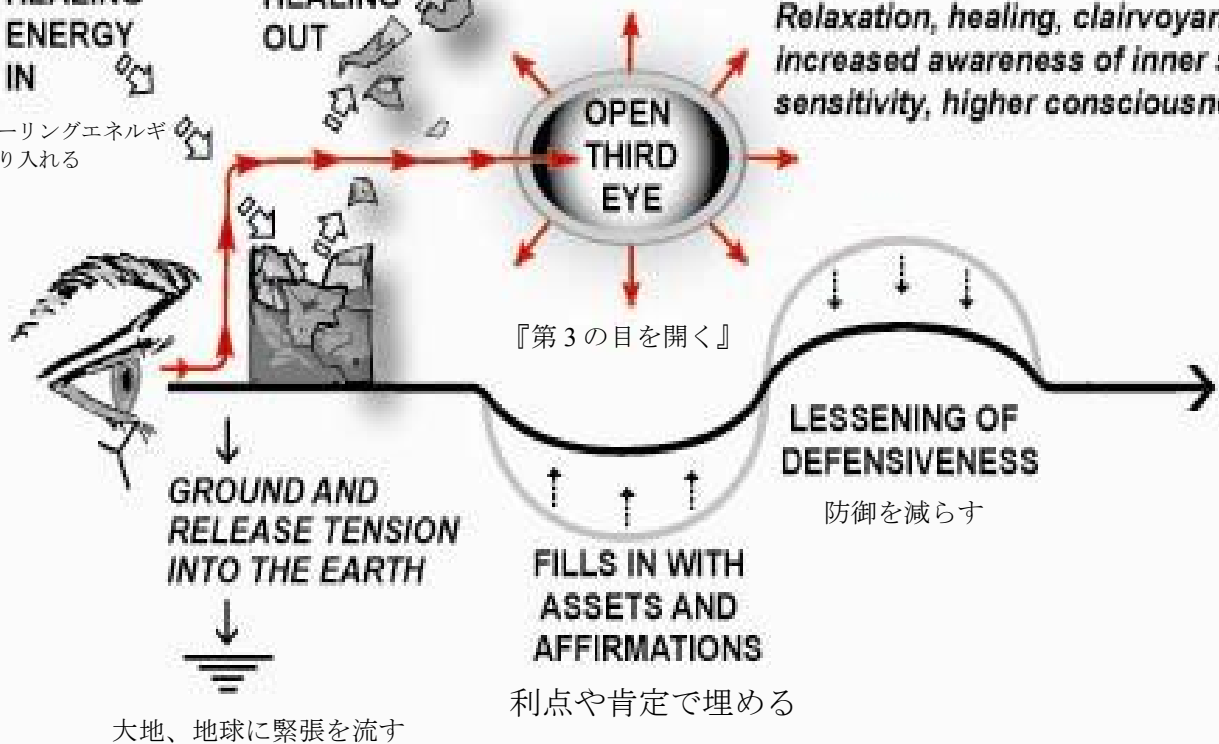
緊張のゆるみ、癒し、透視力、インナーセルフの増大した意識、感性、高次の意識

SELF HEALING ENERGY IN

SELF HEALING OUT

*Relaxation, healing, clairvoyance,
increased awareness of inner self,
sensitivity, higher consciousness.*

自己ヒーリングエネルギーを取り入れる



『第3の目を開く』

FILLS IN WITH ASSETS AND AFFIRMATIONS

利点や肯定で埋める

大地、地球に緊張を流す

LESSENING OF DEFENSIVENESS

防御を減らす

*Conscious awareness is in harmony with inner self,
and outer world. Feelings of oneness and tranquility.*



頭在意識がインナーセルフと外界と調和した状態。
平穏とつながりの感覚

HARMONIC FLOW

調和した流れ

超自然現象、精神世界の段階的体験

思考
意志
気持ち

心理学	エネルギー	霊能力 (五感が魂レベルで開化)	霊媒能力 (チャネリング)	秘伝、密教的神秘	人智を超えた超常的神秘	聖職者的精神界
より明瞭でオープンな思考と理由付け	思考がエネルギーの流れとして体験される	創造的思考、視覚化、想像	鼓舞された思考、心の交わり、チャネリング	想像と優れた才気を修得	高次の自己(ハイヤーセルフ)、自己超越の英知	神の叡智、イルミネーション (光)
過去と感情、知力の統合	知覚の弛緩、拡張、目覚め	第六感的感覚が思考と併合	他者の思考を意識的に受け取る	頭脳が気持ちとともに身体を意識的に離脱、幽体離脱	高次の自己という思考が併合、哲学的	無私無欲な思考、啓示、修得
理解	拡張	洞察	創造性の刺激(インスピレーション)	認識	英知	全知
内面を見る	エーテル体を見る	幽体を見る	知的に見る	精神的に見る	宇宙的に見る	神のように見る
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
思考を元に意志が行動の原動力となる	意志が論理と結合し、体内のエネルギーに反応する	意志力が第六感や気持ちを探求するよう導かれる	意志は直感的な通達、見識、思考に従うことを基本とする	意志が個人的情熱をさまざまななり、生命の第3の側面として進化する	高次の自己(ハイヤーセルフ)という意志が人生を導く	「汝、我を通して物事を為せ」 神の意志
外部からの影響に対する反応からの解放	個人の意志をエネルギーの流れを体験することに当てはめる	正しい行ないを感じ、追従する	導かれた行動と行ない	道徳的に正しい行動	高潔な行動	信心深い敬虔な行動
人間としての基本的行いの法則を認識	原因、影響、エネルギー、生命力の法則が感じられる	精神界の法則が内面で直感でき、包み込まれる	精神界の法則が良心と企てとして聞き入れられる	精神界の法則が無私無欲に作用し修練される	精神界の法則が日常生活に併合される	心底溢れる愛に満ちた生を精神界の法則の模範とする
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
感情の状態が頭脳と身体に影響を与える	気持ちというエネルギーを体験できる 例：手を握っているときや癒しを施しているときに感じられる暖かいエネルギーの流れ	気持ちが他から分離し、はっきり知覚でき、頭脳への微妙なメッセージとなる	感受性が増長し、気持ちが拡張する	視覚に対する洞察的反応	高次の自己(ハイヤーセルフ)という気持ちが表現される	すべての生命の一体感が体験される
個人的な気持ちは感情の集合体である 例：緊張、欲求不満、怒り、恐れ、ねたみの集合体としての不安	感情が別個のエネルギーとしてより明確に定義付けられる	他人の幸福に対する思いの高まり 愛情深さと癒し	気持ちに対する繊細さとエネルギーが増長 精神的領域が人間の感情に強い印象を与える	気持ちが別個の物となり、制御可能になる 明瞭さと平静 上級の超能力	愛情に満ちた光が身体から放たれる 拡張、慈悲 利他的な貢献に対する欲求	神の愛 変質 上昇 感情が大成され、純粋なる輝きへと転化

この表は、人間という形状のまま魂の進化をもたらす様々な精神世界の道の旅した人々が、その見識、感覚、行動における個人的変化の例えとして挙げた事象を表しています。頭脳における思考、身体を感じることで、精神の意志が目覚め、創造のエネルギーとの一体化、そして、より偉大なる幸福を探求する高次元の意志と調和して行動するという共通の目標に向かって邁進するとき、人類は絶えず進化する悟りと光（イルミネーション）を経験します。